

# 質 疑 要 旨

馬場弘勝議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>1 地震被害の最小化について</p> <p>(1) 来年度作成予定の防災ハンドブックの目的や対象者、内容、配布数、設置場所、他の類似するハンドブックとの違いや特徴を聞く。</p> <p>(2) 住宅の耐震改修補助制度の助成額を210万円に拡充して半年が経過するが、その施策効果をどう評価しているのか。</p> <p>(3) 石川県耐震改修促進計画の改訂について</p> <p>ア 来年度予定する見直しの方針を聞く。</p> <p>イ 被災した住宅は改めて耐震診断を行って備えを強化すべきことを盛り込むべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 感震ブレーカーの設置普及について</p> <p>ア 補助制度創設から半年が経過するが、実績はどうか。</p> <p>イ 関係事業者や団体との連携協定により、取組を進めてはどうか。</p> <p>ウ 木造密集市街地を火災延焼の重点対策地域と市町が定めることを支援し、当該地域の世帯には全額補助したり、町内一括申請の場合は全額補助するなど、手を尽くすべきではないか。</p>	<p>知 事 危機管理部長 土 木 部 長</p>
<p>2 学生のフィールドワークについて</p> <p>(1) 来年度は、地域課題の解決に取り組む県内大学ゼミ等のデジタル技術等を活用した取組への支援が予定されているが、具体的な内容を聞く。</p> <p>(2) 高校生の防災教育としての能登でのフィールドワークについて</p> <p>ア 今年度の成果と手応え、来年度の継続実施を判断した理由を聞く。</p> <p>イ 探究活動内容を発表する機会や、更に深化させるための持続的な探究活動に向けた取組について聞く。</p> <p>(3) いしかわサテライトキャンパス推進事業のフィールドワークの参加対象に高校生を追加し、受入拡充を図る狙いを聞く。</p>	<p>知 事 企画振興部長 教 育 長</p>

この質疑要旨は、1月29日午後5時20分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
<p>3 海外渡航の促進について</p> <p>(1) 小松空港を利用して本県に来訪する外国人と海外へ行く日本人の人数と増減の推移を聞く。</p> <p>(2) 本県のパスポート保有率と近年の推移は、全国的な数値と比べてどうか。</p> <p>(3) 来年度の小松空港を利用したアウトバウンドの促進策を聞く。</p> <p>(4) 小松空港国際線の利用促進のため、若年層の海外渡航や海外修学旅行の働きかけや支援をすべきではないか。</p>	<p>知 事 企画振興部長 文化観光スポーツ部長</p>
<p>4 食の功績を称える顕彰制度について</p> <p>(1) 文化庁による食の至宝顕彰制度において、本県からの受賞者誕生への期待感を聞く。</p> <p>(2) いしかわの食の巨匠顕彰制度と食の至宝顕彰制度の基準の違いは何か。</p> <p>(3) いしかわの食の巨匠顕彰制度の選考プロセスを聞く。</p>	<p>知 事 商工労働部長</p>
<p>5 県政出前講座について</p> <p>(1) 参加者に地域や年代の偏りはないのか、共働き世帯や現役世代、若者、子どもたちは含まれているのか。</p> <p>(2) 多くの県民への効率的な周知の観点から、人気の高いテーマのオンデマンド配信も検討すべきではないか。</p> <p>(3) 例えばシニアや子育て世代など受講団体の特徴に合わせ、複数テーマを組み合わせたメニューを取り入れてはどうか。</p> <p>(4) 重要なテーマである復旧・復興に関する能登での施設見学型講座を、受入可能な範囲で多く取り入れるべきではないか。</p>	<p>知 事 戦略広報監</p>

この質疑要旨は、1月29日午後5時20分に取りまとめたものです。